



熊谷雄一市長（左から3人目）に全国1勝の意気込みを語った  
八学大の選手ら＝18日、八戸市庁

## 八学大女子サッカー部全日本選手権出場

# 悲願の1勝へ意気込み

八学大女子サッカー部が、大阪府などで行われる第32回全日本大学女子選手権（24日～来年1月6日）に東北地区第2代表として臨む。9年連続の出場となるが、選手権ではまだ白星をつかめていない。18日は選手らが八戸市庁に熊谷雄一市長を訪ね、悲願の「全国1勝」へ抱負を語った。

八学大は4チームで争った9、10月の東北地域大学女子サッカーリーグを2勝1敗の成績で準優勝。上位2チームに与えられる選手権への切符を手にした。

選手権には各地区予選を勝ち抜いた24チームが出場し、トーナメント方式で日本一を決める。八学大は、開幕日の24日に九州地区第1代表の活水女子大（長崎）

と対戦する。八学大は個々のスキルを生かした攻撃が強み。相手の活水女子大は2015年創部のチーム。互いに選手権は未勝利で、初白星を懸

けた熱戦が予想される。この日は、小川啓示監督ら5人が市庁を訪問。熊谷市長が「勝てそうですか」と尋ねると、選手たちは「勝ちます」と力強く応じた。副主将のGK小林ちひろ（4年）は「まだ全国では一度も勝ったことがないので、自分たちの代で1勝できるように全力で頑張る」と健闘を誓った。

（磯野雄太郎）